

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年 2月 27日

事業所名：リハビリ児童デイサービス
はっぴークローバー

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に基づき指導訓練等のスペースを十分に確保している。	はい 85% わからない 15%	保護者へ更に周知を図るように努めていきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づき職員を配置している。	はい 95% わからない 5%	継続して進めていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	階段には滑り止めマットを敷き、フロアには安全性・クッション性の高いマットを敷いている。階段昇降時に不安がある利用者には、必ず職員が付き添っている。	はい 80% わからない 10%	今後も安全に過ごせる様、取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	到着時、昼食・おやつ前、外出からの帰着時は、手洗い・消毒を実施している。職員が毎日掃除を行い、清潔を維持している。	はい 70% わからない 30%	清潔を維持し、感染防止に努めながら、今後も継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の申し送り、定期的な職員会議を行い、業務全般についての報告、改善点の確認を実施している。	/	継続して進めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施	/	今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修を案内を回覧し、外部研修への参加を実施している。社内研修では、職員が担当し実施している。	/	継続して進めていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者面談等を実施し、子どもの課題や保護者のニーズを確認、分析し計画を作成している。	はい 100%	今後も満足度が上がるように、継続して努めていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じて、個別・集団活動を実施している。		今後も満足度が上がるように、継続して努めていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援に必要な項目、具体的な支援内容を記載している。		今後も満足度が上がるように、継続して努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々の申し送りや、職員会議等でも確認し、実施している。 作業療法士や各専門職の意見を取り入れている。	はい 100%	今後も継続して、努めていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当職員が主体な立案者となり、作業療法士や各専門スタッフの意見、利用者の現在の状況等を確認し、立案している。		今後も継続して、努めていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・長期休暇などのサービス提供時間に応じて、支援を行っている。長期休暇では、子ども達の興味や関心を引き寄せ、楽しく実施できるようにプログラムを組み、支援を行っている。	はい 90% どちらともいえない 10%	今後も継続して、努めていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	長期休暇、学校休業日には、外出や季節行事を取り入れている。 職員全体で様々な意見を出し合い、活動プログラムを構成している。		今後も継続して、努めていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日のミーティングで、支援内容、状況の共有化を図り、確認を徹底している。		今後も継続して、努めていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	児発管が状況に応じて、指導員から状況説明を受け、当日できない場合は、職員申し送り記録帳に記載し、再度翌日申し送っている。		今後も継続して、努めていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の支援内容や様子、保護者からの情報等を、個々の記録として残している。支援の検証は、継続して実施している。		今後も継続して、努めていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者面談を実施した結果や、各専門職の意見を踏まえ、支援計画の見直しを行っている。		今後も満足度が上がるように、継続して努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議には、必ず児発管が出席し、現在の状況、状態、今後の課題等を話しあっている。		今後も継続して、努めていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ、該当者なし。		状況に応じて、進めていきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ、該当者なし。		状況に応じて、進めていきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、見学・面談・電話等での、情報の共有を図っている。		今後も継続して、努めていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在のところ該当する児童がいない為できていないが、その機会があれば積極的に情報の提供を行います。		状況に応じて、進めていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各研修に参加している。		今後も継続して、努めていきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	学校休業日、長期休暇を利用して、外出等で交流を図っている。	はい 20% わからない 60% どちらともいえない 15%	利用者の状況、時間等を考慮しながら、交流を図っていきたいとおもいます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の行事に、参加させていただいている。		今後も地域の行事に積極的に参加し、更なる地域交流を目指していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時や契約時、また利用開始後も不明な点や疑問点があれば、随時説明をおこなっている。	はい 100%	今後も継続して、努めていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画を書面で渡し、支援内容の修正の有無、追加事項の有無を確認してから、ご署名をいただいている。	はい 100%	今後も継続して、努めていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	特別な機会は設けていないが、必要に応じて事業所来所いただいたり、電話や電子メール、家庭訪問を実施している。	はい 45% わからない 35%	随時実施しているが、ペアレントトレーニングとして認識されていない面があると今回わかった為、今後はわかりやすく周知していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の送迎や、連絡帳にて情報交換を行っている。また、電話や電子メールにていつでも情報交換できるように、体制を整えている。	はい 100%	今後も継続して、努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて、時間を設け訪問や面談、電話・電子メール等で相談に応じている。	はい 90% どちらともいえない 10%	今後も継続して、努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	特別な機会は設けていない。	わからない 45% いいえ 45%	こういう機会を望む保護者と望まない保護者の声も多数あります。希望者のみで開催することも検討し、慎重に進めていきたいと考えています。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	24時間転送電話にて、迅速な対応ができるようにしている。	はい 80% わからない 20%	今後も継続して、努めていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて、絵カード等を使用している。	はい 100%	お子様の状況・心身機能の状態に応じ進めていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月行事予定を配布している。また、連絡帳等にて活動・行事での様子を報告、または活動内容をホームページにて発信している。	はい 75% わからない 15%	ホームページを見ていない保護者の方もいたため、より周知していけるよう努めていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は、鍵つき書庫で保管し、外部にもちださないように徹底している。	はい 100%	今後も、個人情報の取り扱いを、徹底していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを作成し、緊急時の対策に取り組んでいる。 感染症流行時には、電子メールや手紙などで予定の変更や対応について周知している。	はい 80% どちらともいえない 15%	より理解いただけるよう、検討していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に、避難訓練を実施している。	はい 90% どちらともいえない 10%	今後も継続して、努めていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止の研修を実施している。		外部研修に積極的に参加し、その内容を職員に周知していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を必要とするケースがない。		今後、該当するケースがあった場合は、本人、保護者等、その都度事前、事後説明報告し、話し合いの機会を設定し、徹底していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りにて、アレルギーの有無を確認している。		今後も継続して、努めていきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例をたくさんあげて、スタッフ間で共有している。		今後も継続して、努めていきます。